

講師プロフィール

中京大学総合政策学部教授 おくの のぶひろ 奥野 信宏 氏

昭和20年 島根県生まれ

京都大学農学部農業経済学科卒業

経歴：名古屋大学経済学部教授、同学部長、同大学副学長

現在：中京大学総合政策学部教授、学校法人梅村学園理事

専攻：理論経済学、公共経済学

- <近著>
- ・「公共の役割は何か」（平成18年）
 - ・「地域は『自立』できるか」（平成20年）
 - ・「公共経済学第3版」（平成20年）
 - ・「新しい公共を担う人びと」（共著・平成22年）

いずれも岩波書店刊

- <公職>
- 国土交通省国土審議会委員
- ・政策部会会長
 - ・国土政策検討委員会委員長
 - ・防災国土づくり委員会委員長(※)
 - ・長期展望委員会委員長

※災害に強い国土構造への再構築に係る重要課題について調査審議

- ・東日本大震災の教訓を踏まえた検討を行うため本年6月に設置
- ・本年7月、「災害に強い国土づくりへの提言」をとりまとめ

東日本大震災後の教訓と今後の国土づくり
学校法人梅村学園中京大学 理事・総合政策学部教授 奥野信宏
(平成23年10月19日)

1. 国土政策の展開

- 「交流・連携」が生み出すダイナミズム
- 交流・連携の重点の変化
 - ・ 全総（昭和37年度）→「拠点開発構想」
 - ・ 新全総（44）→「大規模プロジェクト構想」
 - ・ 3全総（52）→「定住圏構想」
 - ・ 4全総（62）→「多極分散型国土の形成」→多様な主体の参加
 - ・ 5全総（平成10年度）→「一極一軸から多軸型国土へ」
→地域住民、ボランティア団体、NPO、民間企業等の多様な主体による地域づくり

2. 国土形成計画（第6次国土計画）と「新たな公（新しい公共）」

（1）5つの基本戦略のベース

- ・ 「東アジアとの円滑な交流・連携」「持続可能な地域の形成」「災害に強いしなやかな国土の形成」「美しい国土の管理と継承」
- ・ これらを基盤として支える「新たな公を基軸とする地域づくり」
- ・ ソフトの施策の軸、ハードの施策と車の両輪

（2）4つの役割

①行政機能の代替

- ・ 行政が提供しているサービスを自らの意志で住民に提供
- ・ 道路・公園・河川の維持管理、旧役場機能の代替等

②行政の補完

- ・ 行政が提供すべきとまでは言えないが、公共的価値の高いサービスの提供
- ・ 古民家の再生、地域文化の保存、地域での子供の教育・介護等

③民間領域での公共性の発揮

- ・ ビジネス的な色彩が強い事業について、それに公共的な価値を賦与して住民に提供
- ・ 特産品の開発・販売、観光資源の発掘・事業化、2地域居住等

④中間支援機能

- ・ 官と民、あるいは民と民の触媒機能
- ・ 民設民営、公設公営、公設民営
- ・ 重要性を増す中間支援機能

（3）新しい公共の育成

- ・ 組織が脆弱（資金、人材）
- ・ 大都市圏と地方圏の意識の断絶→谷筋の文化がつくる日本の文化

3. しなやかに強い国土の形成

- (1) 新しい発展サイクルの始まり
 - 過去の経済発展と新たな発展段階
 - 大都市圏の国際競争力の強化
 - ・広域圏内の都市の役割分担と連携
 - 広域地方圏の連携強化
 - ・GNI、歴史街道計画、三遠南信地域、九州戦略会議等
 - 程よい成長の必要性
 - ・都市圏での新しい公共の活躍
- (2) 「防災国土づくり委員会」における議論
 - ・首都圏・各広域圏におけるバックアップ機能の整備
 - ・常時の競争、非常時の協調
- (3) 「荒廃する日本」の恐れ
 - ・合理的だった社会資本の形成過程
 - ・社会資本の維持更新への危惧
 - ・米国の経験
 - ・有効な利活用、効率的整備、長寿命化

以上